

# 翔

2010 April No.203  
百万石蝶談会



## 立冬に舞うギフチョウ

浅野直樹

2009年11月初旬は、10月初旬を思わせるような暖かな日が続き、立冬の11月7日、ゼフィールの越冬卵採集に金沢市湯涌荒屋の林道に出かけた。正午近く、林道を下りてきたとき、日だまりをフワリフワリと飛翔する小さなアゲハチョウのような蝶を目撃した。近づいても全く逃げようとしないう目の前の蝶が、極めて新鮮なギフチョウであることを目視したときは本当にびっくりした。あまりの緩慢な飛翔に素手で捕らえようと数回試みたが、羽に触れただけで捕らえ損ね、次に帽子で捕獲しようとしたが、これまた逃げられてしまった。急いで車まで戻り、捕虫網を持って駆けつけたときには、その姿はどこにもなく、たいへん悔しい思いをした。その時刻の気温は24℃で、数日続いた陽気に誘われて羽化したものと思われる。

2009年11月7日 石川県金沢市湯涌荒屋 ギフチョウ 1頭目撃 浅野直樹

2009年11月7日 石川県金沢市湯涌荒屋 オナガシジミ 2卵採集 浅野直樹

《あさの なおき 〒920-0942 金沢市小立野2-27-7》

## 石川県で10月にムラサキシジミの幼虫を観察

松井正人

死んでからまだ日の浅いムラサキシジミの終齢幼虫を、10月にアラカシの葉上で観察したので報告する。

2009年10月4日 金沢市忠縄北部公園 終齢幼虫1頭目撃（アラカシ） 松井正人

石川県では、1回目の発生と思われる新鮮な成虫が6月中旬から観察され始め、この成虫から発生した幼虫は6月下旬から観察され始めるため、8月には2回目の成虫が発生していると思われる。

8月下旬には卵も観察されており（浅野、2009）、今回観察した幼虫は、2回目の成虫から発生した幼虫と思われる。



アラカシ葉上で死んでいた終齢幼虫

《参考文献》

浅野直樹（2009）2009年医王山および山麓周辺のムラサキシジミ発生動向. 翔(201):7.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

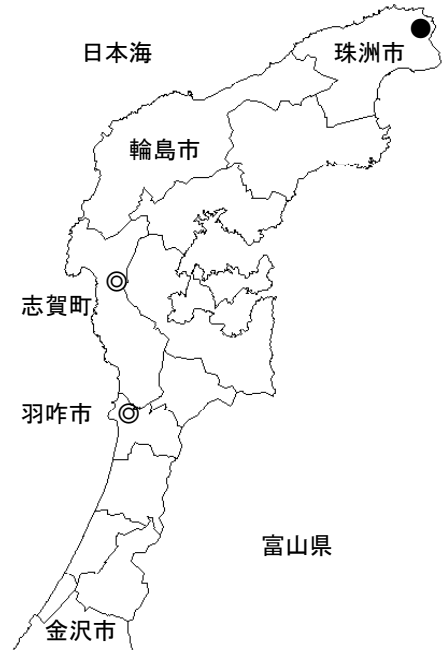
## 珠洲市寺家須須神社社叢のヒメカンアオイ

松井 正 人

筆者は松井（2008）で、ヒメカンアオイの生育地が、珠洲市、羽咋郡志賀町、羽咋市と広い範囲に散在することから、かつては広い範囲に生育していた可能性があり、ヒメカンアオイを食草とするギフチョウも生息していた事が考えられるとして、能登で観察しているカンアオイの仲間の生育地を紹介した。しかし、珠洲市寺家須須神社社叢のヒメカンアオイについては、4半世紀前の観察であり、2007年の再調査では観察できなかつたと報告した。

2008年5月に再び調査したところ、ごく狭い範囲でヒメカンアオイが観察できたので報告する。

駐車場から社殿に向かって参道を進むと階段となる手前に十字路があり、左手は社務所につながり、右手は細くて薄暗い道となる。ここを右手に進むと、板が敷いてある場所があり、この板は降雨時に山側から流れてくる水をまたぐ小さな橋になっている。この板の周囲で、ごくわずかのヒメカンアオイを観察し、すべての葉の地際から花を探したが、花は見つからなかった。須須神社社叢には、枯谷や水が流れる谷、沼などがあるが、観察できた場所は、この1カ所だけだった。



ヒメカンアオイの観察地



珠洲市寺家須須神社社叢のヒメカンアオイ（2008年5月10日撮影）

### 《 参考文献 》

松井正人（2008）能登に生育するカンアオイの仲間とギフチョウ生息の可能性. 翔(191) : 1-2.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 石川県内のセミの初鳴きと遅鳴き

松井 正人

石川県内では、13種類のセミの声を聞くことができるが、それぞれに鳴いている時期が違っているので、いつ頃から鳴き始め、いつ頃まで鳴いているのか紹介したい。

紹介する中で、クマゼミは、希に声を聞くことができる程度であり、県内で発生を繰り返しているとは言えず、鳴声が聞かれる期間は毎年発生を繰り返している生息地とは異なると思われる。また、アカエゾゼミは、ここで紹介した2記録しかないために、鳴声が聞かれる期間は特異なものになっている。

## 1. ハルゼミ

初鳴き	1998年 4月16日	加賀市作見	富沢 章 (松井、1998)
遅鳴き	1999年 7月 7日	輪島市高洲山赤坂	松井正人 (松井、1999)

## 2. エゾハルゼミ

初鳴き	1998年 5月15日	白山市白峰	徳本 洋
遅鳴き	2004年 8月 1日	白山市一里野檜倉	松井正人

## 3. ニイニイゼミ

初鳴き	1998年 6月17日	加賀市上木	徳本 洋
遅鳴き	1999年 8月29日	金沢市甥杉	松井正人

## 4. ヒグラシ

初鳴き	1998年 6月30日	白山市八幡	富沢 章
遅鳴き	1999年10月 2日	宝達志水町宝達山	松井正人

## 5. スジアカクマゼミ

初鳴き	2004年 7月 9日	金沢市大場柳瀬公園	松井正人
遅鳴き	2007年10月12日	金沢市柳瀬川堤公園	武藤 明 (武藤、2007a)

## 6. クマゼミ

初鳴き	2003年 7月27日	小松市芦城公園	富沢 章 (富沢、2004)
遅鳴き	2003年 8月28日	金沢市鞍月	近堂清司 (富沢、2004)

## 7. エゾゼミ

初鳴き	1999年 7月17日	輪島市鉢伏山	松井正人
遅鳴き	1999年10月 2日	宝達志水町宝達山	松井正人

## 8. コエゾゼミ

初鳴き	1998年 7月25日	白山市白山釈迦林道	松井正人
遅鳴き	1978年 8月20日	金沢市赤摩木古山	松井正人 (松井、1994)

## 9. アカエゾゼミ

初鳴き	2007年 8月17日	白山市白峰西俣谷川	武藤 明 (武藤、2007b)
-----	-------------	-----------	-----------------

遅鳴き 2007年 8月27日 白山市白峰西俣谷川 武藤 明 (武藤、2007b)

10. アブラゼミ

初鳴き 2002年 7月15日 金沢市才田 松井正人

遅鳴き 1995年10月 8日 かほく市指江 松井正人

11. ミンミンゼミ

初鳴き 1998年 7月25日 白山市河原山 松井正人

遅鳴き 1994年10月 3日 金沢市柚木 松井正人 (松井、1995)

12. ツクツクボウシ

初鳴き 1998年 7月26日 金沢市木曾坂 武藤 明 (武藤、1999)

遅鳴き 1995年10月22日 金沢市柚木 松井正人

13. チッチゼミ

初鳴き 2004年 8月 7日 白山市一里野檜倉 松井正人

遅鳴き 2000年11月 4日 志賀町直海別所 松井正人

石川県で聞かれるセミの鳴声の期間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ハルゼミ	—	—	—	—				
エゾハルゼミ		—	—	—	—			
ニイニイゼミ			—	—	—	—		
ヒグラシ			—	—	—	—	—	
スジアカクマゼミ				—	—	—	—	
クマゼミ				—	—			
エゾゼミ				—	—	—	—	
コエゾゼミ				—	—			
アカエゾゼミ					—			
アブラゼミ				—	—	—	—	
ミンミンゼミ				—	—	—	—	
ツクツクボウシ				—	—	—	—	
チッチゼミ					—	—	—	—

《 参考文献 》

松井正人(1994)石川県のセミの記録. 翔(107):10.  
 松井正人(1995) 1994年におけるセミの記録. 翔(112):9-10.  
 松井正人(1998)石川県のハルゼミ. 翔(133):3-5.  
 松井正人(1999)ハルゼミとヒグラシの声を同時に聞く. 翔(139):4.  
 武藤 明(1999) 1998年度の昆虫資料. とっくりばち(66)7-9.  
 武藤 明(2007a)柳瀬川つつみ公園におけるスジアカクマゼミ発生状況. とっくりばち(75):38-39.  
 武藤 明(2007b)三ツ谷(旧白峰村)でアカエゾゼミを再確認. とっくりばち(75):54.  
 富沢 章(2004)石川県で相次いだクマゼミの記録. 翔(168):7.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 2008年アサギマダラ日記

松井正人

### ■ 5月17日 今年初の海岸調査

海岸で今年初のアサギマダラ調査。7時に羽咋市の一宮海岸から出発し、2カ所目の志賀町甘田海岸でようやく1♂にマーキング。勢いに乗って、大島、増穂浦、赤崎、鹿頭、鹿磯、深見と午前中に輪島市門前町にかけて調査するが、観察できたのは甘田の1♂だけだった。



アサギマダラを初観察した甘田海岸

### ■ 5月24日 珠洲にかけての海岸調査

6時に羽咋市から調査を始め、11時には輪島市門前町鹿磯までの調査が終了したが、アサギマダラはゼロ。12時に輪島市三子浜から再び調査を始め、珠洲市三崎町にかけて9♂にマーキング。16時頃からポツリポツリと雨が降り出したが、1日中曇り空で午後は蒸し暑かった。こんな日だからこそ、気温がそれほど上昇せず1日中マーキングすることができた。今晚は珠洲泊で、明日は羽咋に向けて逆向きの調査。



三子浜でようやく1頭目を観察

### ■ 6月5日海岸で大量マーキング

まだ暗い3時40分に金沢を出発し、輪島市三子浜に着いたのは5時30分。飛来数が多く、調子良くマーキングを続けていると8時頃から雨。しとしと降りではマーキングを続け、大降りになると中断を繰り返す。快調にマーキングを続けていたが、15時40分からの大雨は止まず、後ろ髪を引かれる思いで調査を終了。こんな天気だからこそ海岸の気温も上がらず1日中マーキングが楽しめ、170♂にマーキング。



狼煙のスナビキノウに群れるアサギマダラ  
(8頭写っている)



### ■ 6月8日大乱舞にネットが出せず

珠洲市寺家でのマーキングを終え、7時に狼煙に着くと見たこともない「大乱舞」。あまりの多さにネットも出せず見とれていて、西部小学校の砂山先生が到着。前日と同じ状態らしい。子供達にも見せたくて呼びかけたらしいが、交通手段が無い子供達は親の協力が無いと来られないらしい。

天気が良くて気温はぐんぐん上昇し、10時頃になるとアサギマダラはほとんどいなくなりましたが、振り返った波返しの前でできた僅かな日陰や、大きく育ったヨシの中の暗がりには、まだ残っていた。



狼煙の大乱舞に網を振る砂山先生



僅かな日陰を求めて集まるアサギマダラ

### ■ 6月15日珠洲で産卵調査

海岸で観察されるアサギマダラはグッと少なくなった。珠洲市の海岸でもほとんど観察できなくなり、産卵調査に切り替える。狼煙から近い山伏山の麓では、標高80m付近にあったオオカモメヅル14株を見たところ3卵が見つかった。また、赤神から大谷峠に1km程向かった標高120m付近では、25株のオオカモメヅルを調べ17卵が見つかった。産まれて間もないようで、孵化しているものは無かった。



卵が見付かった海岸近くのオオカモメヅル

### ■ 7月5日山の龍宮城で観察会

宝達山の標高560mにある龍宮城の直ぐ近くにオオカモメヅルがある。「これが食草のオオカモメヅル」と紹介したら、「これが幼虫ですか」との声。なんと指さした先にはアサギマダラの3齢と思われる幼虫が付いていてビックリ。その翌日に1頭、またその翌日に1頭と、同じ場所で3頭の幼虫が見つかった。見つけたのは龍宮城を管理する橘さんで、採集して龍宮城のキジョランで飼っていたら蛹になった。7月21日に蛹を見せてもらおうと、蛹から怪しい糸が引いている。マダラヤドリバエかもしれないと、「アサギマダラ海を渡る蝶の謎」(佐藤英治、2006年、山と溪谷社)を見ると36ページの写真と同じだった。石川県で、アサギマダラの寄生が観察されたのは、これが初めて。

## ■ 8月10日珠洲でヒヨドリソウ調査

8月に入って、珠洲市の宝立山林道で毎日のようにアサギマダラが観察されているとの情報に、居ても立ってもいられず、土曜の夕方に出発し現地で車中泊。4時半から行動を開始し、あらかじめ目星をつけたあった真新しい造林地を回ったが、ヒヨドリソウが無い。それどころか、車道脇は草刈りされ見つけてあったヒヨドリソウは、みんな刈られていた。

## ■ 8月23日福島さん宝達山でマーキング

今年も宝達山へマーキングに来られた喜界島の福島さんだったが、ちょっと時期が早かったようで、どうにか2匹にマーキング。龍宮城では、橘さんのもてなしと杉木さんの楽しい話術に載せられて、暗くなるまで話し込んでしまった。



宝達山の頂上でマーキングする福島さん

## ■ 9月6日宝達山に本格飛来

窓を開けて寝ていたが、暑くて眼がさめる。絶好のマーキング日和と9時に宝達山に到着すると、すでに橘さんが始めている。堀さん夫妻も参加してマーキングしていると、ゴロゴロと遠くで雷が鳴り出し、だんだんと近づいてくる。真上まで来た2時頃から雨が降り出し、龍宮城で橘さんのおいしいコーヒーを楽しみながら止むのを待つ。3時30分には雨が上がって明るくなってきたので再び出勤。

## ■ 9月13日宝達山に大量飛来

7時頃の下界は雨。宝達山も雨だろうと暗い気持ちになり、のんびりと出かけて9時に到着すると宝達山も雨。ところが、宇野さん夫妻、堀さん夫妻がカッパを着てマーキングしている。とんでもない数のアサギマダラが居るらしい。あわてて参戦すると、橘さんもやってきて、「こんな雨の中、誰もいないと思ってたのに。みんなおかしい」などと言うが、橘さんだってその1人である。その後、珠洲市から宮前さんもやってきて楽しさに輪がかり、みんなで564頭にマーキング。群馬県から飛来した2頭も再捕獲。



雨が止んでもカッパを着て頑張る堀さん



アザミで吸蜜するアサギマダラ



## ■ 9月20日宝達山の飛来ピーク

9月13日から大量飛来が続いているが、今日は爆発したかのようにアサギマダラが湧いてくる。集まったマーキングメイトは、みんなニコニコ顔。宝達小学校の子供達の顔も見え、学校マーキングでは味わえなかった感動が、ようやく伝わったようで嬉しい。今日のマーキング総数は792頭で、群馬県から飛来した4頭も再捕獲された。



家族でマーキングする宝達小学校児童



大量マーキングにニコニコ顔のマーキングメイト



アサギTシャツでネットを振る橘さん

## ■ 9月22日宝達小学校マーキング会

あれほど湧いてきたアサギマダラが、2日しか経っていないのに、ほとんど飛ばない。学校マーキングの日は巡り合わせが悪いのか、40人の児童が走り回った成果が8頭と、かわいそうでならない。下界からは、宝達山の頂上は見えていたが、頂上の上には分厚い雲がかかり、日差しは無かった。

## ■ 10月1日アサギマダラは行ってしまった

宝達山は、青く澄んだ空をバックにくっきりと見え、日当たりを歩いていると汗をかく程だが、アサギマダラはどこにもいない。時折、鳥の鳴く声が聞こえてくる程度で静まりかえり、風にそよぐブナの葉擦れが寂しさを募らせる。マーキングが終わるまで待っていてくれた車道の草刈りも終わり、龍宮城から頂上までのアサギロードはアザミが刈り払われ、広がっていた。



草刈りされて1m程広くなった車道

## 会員の動き・しゃばの動き

### ■トゲナナフシはヤツデが好き

シシガシラだけで越冬トゲナナを6月まで飼育した経験から、シシガシラを最も好むと思いこんでいたが、どうやら違うようだ。この冬に、身近な場所で手に入る数種類の植物を使って試したところ、シシガシラよりヤツデを好んだ。

### ■ギフチョウの初観察日は22日か

日本気象協会は、2月3日に桜の開花予想を発表し、金沢は4月3日頃らしい。昨年の開花予想は3月29日でギフチョウの初観察は3月17日となると、今年のギフは3月22日頃か。

### ■穴水町で孤軍奮闘

2月6日、穴水町で昆虫調査に孤軍奮闘されている洞内（ほらない）氏を訪ねる。きれいに台紙に並べられた甲虫から、展翅の行き届いた蝶まで、分類群別にドイツ箱70箱に納められていた。虫の分布を語るには各地の記録が不可欠と穴水の虫を集められている。蝶以外は専門外だが、オオチャバネセセリ、エダナナフシ、ヒメカマキリ、タテジマカミキリ、数種類のリングカミキリなどが眼に付いた。

### ■7月の大量マーキングが復活か

輪島の鉢伏山に、ヨツバヒヨドリが咲き乱れ、見事な数のアサギマダラがたわわにぶら下がる場所があったが、植栽されたスギが大きくなるとともに消滅してしまった。穴水町の洞内氏によると、似たような環境が別所岳周辺にあるようで、7月の大量マーキングが、今年復活するかもしれない。

### ■感謝とお詫びのシルビアシジミ

既知の産地から飛び離れて見付かった1頭のシルビアシジミ。以後十数年が経過しても追加記録が無く、誰もが半信半疑の中にあって「必ず居る、必ず見つける」と熱い思いを持ち、ついに能登のシルビアを見付けてしまった西口隆氏。世の中にはすごい人がいるんだなあとおつくづく思うと同時に、見付けてもらった事に感謝したい。また、最初の1頭を記録された小松清弘氏には、地元で有りながら追加記録ができなかった事をお詫びしたい。

### ■氷上でまさかの転倒

バンクーバー五輪が始まり、氷上に雪上に見事な戦いが熱く繰り広げられているが、思わぬ転倒で泣いた選手も多い。小立野でも氷上で転倒し、思わぬ長期入院に泣いている会員がいる。骨盤を骨折し、身動きできない状態で1ヶ月、リハビリで2ヶ月と宣告を受けた。本人の名誉のために小立野のS氏とだけお知らせしておこう。

### ■春一番

春一番は、立春から春分の頃に、その年初めて吹く強い南寄りの風が有名だが、虫界では春分の頃に、その年初めて観察されるギフチョウが有名。今年は、春分より1週間早い3月14日に、細沼氏が小松で観察した。これは、歴代2位のタイ記録で、89年、92年、04年にも14日に観察されている。

### ■在来種バリアにほころびか

加賀南部で大発生したシタバニハゴロモ、数年は発生を繰り返しているらしく、

スジアカクマゼミに続く外来種の定着になる。日本海の真ん中でもミズカマキリが見付かっており、どんな種が日本海を渡ってきてもおかしくないが、これまでは在来種の強固なバリアに守られていたのに、近年は所々がほころびているのかもしれない。

### ■ 3月20日は観察日和

休日と好天が重なった20日は、多くの会員がギフチョウ観察に繰り出した。行った先々で会員には出会うが、ギフチョウとの出会いは微妙なところ。どっしり腰を据えるのか、いくつも飛び回るのか、あなたはどちらの観察派だろうか。

### ■ そろそろナナフシが孵化

手持ちのナナフシ卵の孵化が近づいてきた。去年はシラキをたくさん飼育し、子孫の卵が大量にある。そのほかにもヤスマツやトゲナナもあり、トゲナナの卵も多い。ナナフシは、木本食だと思い込んで苦労していたが、草本も食べるようなので、今年の飼育は楽になるかもしれない。

### ■ バンドトラップの成果やいかに

マツカレハがたかっているマツにワラのバンドトラップをセットし、3月20日に外したが、マツカレハは捕虫されていなかった。外すのが遅かったのか、それとも12月のセットが遅かったのだろうか。

### ■ ダイトウヒメハルゼミを聞きに

いささか風流気味の細沼氏、JALの誕生日割引が復活したのを機に、大東島鳴き声ツアーに参加する。ヒメハルは3月中旬から鳴き出し、島特産のオオコウモリはナイトツアー、ダックスフントのような大東犬は宿泊先で飼われているらしい。那覇からは39人乗りのプロペラ機で1時間程かかるが、小型機は揺れるので心配とか。

### ■ 初観察は早かったものの

去年は、初観察からわずかの間に手取川沿いの産地を駆け上ったギフチョウだが、今年は寒さが戻ったためか、10日経っても白山市からの朗報は聞こえてこない。

### ■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

## 目 次

浅野直樹：立冬に舞うギフチョウ	1
松井正人：石川県で10月にムラサキシジミの幼虫を観察	1
松井正人：珠洲市寺家須須神社叢のヒメカンアオイ	2
松井正人：石川県内のセミの初鳴きと遅鳴き	3
松井正人：2008年アサギマダラ日記	5
編集部：会員の動き・しゃばの動き	9

## 翔 203号

Tobu 2010年4月10日発行  
百万石蝶談会  
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

攝影/大脇 淳

